

# ぎがしり月報

加古川市議会事務局

平成30年(2018年)3月1日 No.545

## 2月13日に総務教育常任委員会を開催しました

### 所管事務に関する調査

〔教育委員会〕

◇「いじめ防止対策改善基本5か年計画」の策定について

## 2月16日に議会運営委員会を開催しました

### 協議事項

◇平成30年第1回市議会(定例会)の議事運営等について

①会期及び日程について

③代表質問及び一般質問について

②議案の取り扱いについて

④請願の受理報告及び取り扱いについて

◇平成30年第2回市議会(定例会)の会期日程について

◇一般質問通告書の様式変更について

◇質疑の事前通告について

◇赤旗勧誘にかかる新聞報道について

## 視察報告

市議会の各常任委員会及び議会運営委員会では、先進的な取り組みを本市の市政向上に役立てることを目的に他都市を視察しています。

今月号では、福祉環境常任委員会と議会運営委員会の視察報告書を、要約のうえ掲載します。

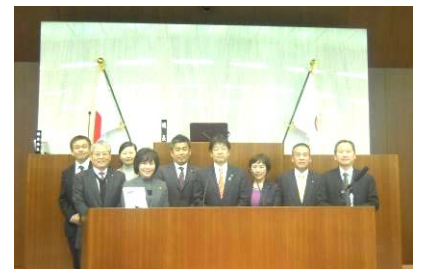
福祉環境常任委員会(日時:平成30年1月23日~24日) **報告者** 委員長 松本 裕之

### ①神奈川県相模原市議会「要医療ケア障害児在宅支援事業について」

#### 事業の概要

相模原市では、医療的ケア児が退院後も安心して在宅生活を継続支援できる様に、北里大学病院・北里大学東病院等と協議し、医療と福祉の機能を備えた複合型施設として、メディカルショートステイ病床10床(うち市民専用床など5床)などを備える小児在宅支援センターを開設し、医療的ケア児に必要な在宅医療やレスパイト(介護・育児を一時的に代替し、家族等にリフレッシュしてもらうこと)等の支援を一体的に行っています。

市は、初年度にセンターの整備費として3千万円を補助しています。また、病床確保・運用費として年間に2千万円を補助しています。



#### 視察を終えての所感

全国で、たんの吸引などの医療的ケアが必要な子供は、10年前に比べて約2倍となる約1万7千人に上り、厚生労働省は、福祉サービス報酬の見直しや、受け入れ体制の整備等の支援を広げる方針を固めています。

このような状況の中、相模原市では、事業実施によって、医療的ケア児の安心・安全な在宅医療の確保と介護・看護からの家族等のレスパイトが可能になっており、相模原市の施策は、大いに評価できます。市の事業としての公平性に関して課題はあるものの、市民専用床確保や緊急時対応は素晴らしい取り組みであります。

一方、加古川市では医療的ケアとして利用できるサービスは限られており、特にショートステイや緊急時の預かりは早急に整備しなければなりません。加古川中央市民病院で受け入れができるように求めながら、西市民病院跡地に建設中の慢性期病院に医療的ケア対応床の確保を働きかけることが必要だと考えられます。

## ②静岡県浜松市議会「保育士確保対策について」

### 事業の概要

浜松市は、待機児童の数が政令指定都市の中では非常に多く、その対策である施設整備を進める中で、保育士不足が発生してきました。保育士確保の対策事業のひとつとして実施する保育士再就職支援研修会は、現在、保育士として働いていない保育士有資格者を対象に、保育士としてスムーズに復帰できるための再就職支援として年6回(実習1回含む)の講義を行っています。実績は平成28年度受講者30人のうち内定者が10名(実習先での雇用が多かった)でした。その他、静岡県、静岡市、浜松市と共同で保育士修学資金等貸付事業の実施などを行っています。



### 視察を終えての所感

浜松市は、国、県と共同での保育士確保対策等を展開するとともに、市独自の取り組みもされており、積極的な自治体であります。しかしながら、潜在保育士対策においては、潜在保育士の実態が把握しづらいという現状があり、今後の保育士資格の経過措置期間後の幼保連携型認定こども園の保育教諭不足、さらには資質向上が大きな課題であります。

加古川市も待機児童対策を前面にして取り組んでおり、着実に成果と実績を上げております。しかしその反面、保育士の量と質の確保は、喫緊の課題であり、近隣自治体の取り組みを注視しながらも、独自の施策に取り組むことが望まれます。

議会運営委員会 (日時：平成30年1月29日～30日) 報告者 委員長 原田 幸廣

<視察先及び内容・所感>

## ①山口県山陽小野田市議会「議会改革全般について」

### 事業の概要

#### (1)議会政策討論会について

議会基本条例第9条に基づき、政策討論会を実施している。基本的な流れとしては、①会派代表等が市の重要課題について、議長に議題を申し入れ、②議会運営委員会で議題を決定し、③当日は議長が座長となり、議事を進行する。

開催状況は、平成24年度に3回、平成26年度に1回開催され、平成26年度は「魅力ある山陽小野田市としての将来像～人口増を目指して」のテーマで開催された。その後、政策討論会で出された意見は、各常任委員会で調査・研究



▲市長へ政策提言書として提出

され、議会として政策提言書としてまとめ、市長へ提出された。提言は、地方版総合戦略、総合計画等に反映されている。

## (2) 市民懇談会について

市民懇談会は、議会基本条例第19条に基づき、実施している。概ね10人程度の市内で活動を行う団体等から特定のテーマについて懇談の申し入れがあった際に、議長が開催を指示するものである。これまでに、「農業と観光・交流資源の振興策」「市民病院の現状と課題」「公立保育所再編」「JR厚狭駅を中心とする街づくり」について開催した。

参加者の固定化が課題ではあるが、市長側はこれに類似する事業を実施していないため、平成27年度は70人、平成28年度は192人、平成29年度は24人の参加者があった。

## 視察を終えての所感

山陽小野田市議会は、議会基本条例を制定し、条文ごとに着実に政策討論会や市民懇談会等を実施されている。事業の推進にあたっては、議会運営委員会を中心とし全議員が一体となり、取り組まれている。政策討論会での意見は、議会として一つの意見にまとめ、市長への政策提言にまでつなげており、議会からの声を反映させるツールの一つとして有効だと感じた。また、市民懇談会についても、市民が意見を届ける場として、着実に市民に認知され、大きな成果をあげているように感じた。

本市においては、議会基本条例を設置していないが、一問一答方式の導入や、政務活動費の領収書のホームページでの公開、議会事務事業評価等、実質的な議会改革に精力的に取り組んでおり、今後もこの動きを止めることなく、議会改革を推進していきたい。

## ②福岡県春日市議会「議会広報について」

### 事業の概要

#### (1) 議会広報のリニューアルについて

議会広報は、年4回、定例会ごとに発行されており、編集は全て4人の議会報編集特別委員会が行っている。

紙面のリニューアルを平成29年5月に行っており、従来は、「読み手が少なく読む年代に偏りがある」「意見聴取やフィードバックが難しい」「紙面改訂は、いつも議会側の視点で行われている」「コスト意識がない」等の課題があった。

これらの解決に向け、①表紙の写真公募 ②読みやすさ重視のため、横書きを採用し、見出しには分かりやすい表現を使用 ③市民が知りたい情報をピックアップ ④市民参画（市民登場）の欄を裏表紙に設けることを改善事項とした。

一番苦労したことは、議案の概要や委員会の紙面充実を図るため、一般質問の掲載面積を縮小することの合意形成を議員間で図ることであった。従来は、1ページに2人掲載していたが、1ページに4人の掲載とした。そのかわり、紙面にQRコードを掲載し、スマートフォン等で質問の動画を見られるよう配慮されている。

#### (2) 議会報告会について

議会報告会は、親しみやすく、来てもらいやすくするため、名称を「議員と語ろう 議会報告会」としている。所管は議会運営委員会で、平成22年度から27年度は年1回、平成28年度からは年2回実施している。全議員が出席し、議会運営委員会を中心に運営・進行するが、会場の設営・後片付けは議員全員で行っている。参加者の減少等、他の市議会と同様の課題もあり、今後はワールドカフェ方式も検討していきたいとのことだった。



▲QRコードを掲載した一般質問の紙面

## 視察を終えての所感

春日市議会も山陽小野田市議会と同様、議会基本条例を制定し、議員が一体となり、議会改革に取り組まれていると感じた。議会広報の紙面改訂には、たいへんな苦労があったとお聞きしたが、「どれだけ量を書いても手に取ってもらえないものでは、発行する意味がない」と議会報特別委員会が全議員を納得させ、リニューアルにこぎつけたことで、議員全員が広報紙に対する考え方をえられたように感じる。本市においても、平成28年8月に紙面改訂を行い、議案の審議状況や委員会報告、また、一般質問議員の顔写真掲載など、紙面の充実を図ったが、もう一度、市民目線で見やすいかどうかの検証が必要だと感じた。

## 議会のうごき

### —平成30年3月市議会（定例会）の開催予定—

日(曜日)	日 程
2月23日(金)	〔第1日〕平成29年度補正予算上程(質疑・委員会付託) 市長施政方針 平成30年度予算及び関係議案等上程(提案説明)
3月1日(木)	常任委員会(総務教育・福祉環境・建設経済)平成29年度補正予算、請願等
5日(月)	〔第2日〕代表質問
6日(火)	〔第3日〕一般質問
7日(水)	〔第4日〕一般質問
8日(木)	〔第5日〕委員会審査報告 (平成29年度補正予算、請願【質疑・討論・採決】) 平成30年度予算(質疑・委員会付託)
12日(月)	〔第6日〕条例・単行議案(質疑・委員会付託)
13日(火)	総務教育常任委員会 平成30年度予算、関係議案審査
14日(水)	福祉環境常任委員会 平成30年度予算、関係議案審査
15日(木)	建設経済常任委員会 平成30年度予算、関係議案審査
26日(月)	〔第7日〕委員会審査報告 (平成30年度予算、関係議案【質疑・討論・採決】) 追加議案上程(即決)

※開会時刻はいずれの日も午前9時30分の予定です。

### —4月の常任委員会開催予定—

日(曜日)	日 程
4月18日(水)	総務教育常任委員会
19日(木)	福祉環境常任委員会
20日(金)	建設経済常任委員会

※開会時刻はいずれの日も午前9時30分の予定です。

<発行> 加古川市議会事務局 議事総務課  
〒675-8501 加古川市加古川町北在家2000  
電話：079-427-9304・FAX：079-424-9043  
E-mail:gikai\_soumu@city.kakogawa.lg.jp